

# 議会だより

いずみざき No.64

令和7年5月1日発行

輝く未来を子ども達へ



いずみちゃん

## 目次

- 表紙…………… 泉崎保育所の子ども達  
2～4 ページ… 更なる村の発展へ～今年度の注目事業  
5～10ページ… 5 名が質問！  
11～14ページ… 議会インフォメーション・編集後記

泉崎村HPアドレス：<https://www.vill.izumizaki.fukushima.jp/>

令和7年3月4日～3月14日  
(一般質問：3月11日)

＊令和7年第1回定例会が開催され提出された議案19件、諮問2件合わせて21件を可決しました。

議案はすべて全会一致で可決されました。

一般質問は5名の議員が行いました。

詳しい議案件名等はこちらから⇒



3  
月  
定  
例  
会

令和7年度予算

一般会計 **41 億3,100万円** (前年度比2.8%増)



## 出産を全力応援

・出産祝金支給事業 620万円

3月定例会の条例改正により出産祝金が

第1子 5万円→10万円

第2子 10万円→20万円

に改正され商品券から現金に変更

子育て世帯への更なる利便性が図られる

## 駅周辺整備事業具体化へ

・立地的適正化計画策定業務 750万円

駅周辺整備事業実施にあたり人口減少・少子高齢化社会に対応したコンパクトで持続可能なまちづくりを目指すため村の将来像や土地利用等を中心にまちづくりの方針の検討を行う

・都市計画マスタープラン策定業務 600万円

令和6年～令和7年の2か年で策定

・泉崎駅周辺整備事業管理支援業務委託料

300万円

・泉崎駅周辺整備事業用地購入費

1億8,300万円



建設予定地（桙内裏山地内）

## 給食センター建設に向けて

・学校給食センター建設設計業務委託

1,612万9千円

(内訳)

給食センター建設基本設計業務委託料

459万1千円

給食センター建設詳細設計業務委託料

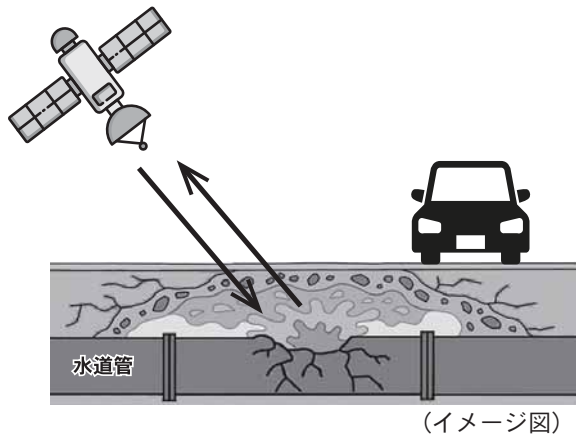
1,153万8千円

# 健全財政をもっとうに村の更なる発展へ

## 備えあれば憂いなし

- ・水害ハザードマップ作成業務 664万円

福島県が作成した洪水浸水特定区域をもとにして  
阿武隈川や泉川を含めたハザードマップの作成



## 最新技術で漏水調査

- ・人工衛星漏水調査業務 330万円

衛星を活用し電磁波を照射して水に反射した電磁波を測定して漏水箇所を探し出すという内容。宮城県内の町村、福島県内の市町村などで共同実施により経費削減と効率的に事業を進める  
(※事業費の2分の1交付金の補助あり)

## シニアライフサポート

- ・高齢者安全運転支援促進事業補助金 25万円

高齢運転者の交通事故防止、事故時の被害軽減を図り子どもや地域住民の安全を守るため誤発進防止措置を購入し取り付けた高齢者に対し予算の範囲内において補助金を交付する(3分の2以内の額) 5万円上限

- ・高齢者エアコン購入事業補助金 25万円

夏の酷暑対策としてエアコンの購入補助を行う  
1台上限5万円として補助をする

- ・高齢者補聴器購入事業補助金 30万円

補聴器の片耳(1個分)上限3万円までの補助を行う



敬老祝金支給事業 600万円

75歳以上の高齢者の長寿を祈念し5,000円の祝金を支給 対象者は1,200名



## 録画映像はこちらから スマートフォンでも視聴可能!

### ※アクセス件数

- ・議会会議録  
延べ件数 8,527件 (月平均 48.2件)
- ・議会映像中継  
延べ件数 8,629件 (月平均 48.5件)



# 令和7年度よりこども支援課(こども家庭センター)が設置されました

妊娠から出産、子育てに関する  
不安、心配ごとなど相談できる

場所：保健福祉総合センター内  
正面玄関から入って右手側



この看板が目印



こども支援課  
お問い合わせ（保健福祉総合センター内）  
☎ 0248 (21) 5561

## 令和7年度泉崎村特別会計・企業会計

※資本的収入額が資本的支出に対し不足する分は当年度損益勘定留保資金、過年度損益勘定留保資金で補てんされます

| 会計区分    | 当初予算額     | 前年度比  | 企業会計  | 水道事業    | 農業集落      | 住宅用地造成  |
|---------|-----------|-------|-------|---------|-----------|---------|
| 国民健康保険  | 7億128万円   | △4.7% | 収益的収入 | 2億467万円 | 2億3,295万円 | 8,279万円 |
| 後期高齢者医療 | 7,990万円   | 3.8%  | 収益的支出 | 2億304万円 | 2億3,032万円 | 4,274万円 |
| 介護保険    | 6億8,651万円 | △2.4% | 資本的収入 | 5千円     | 5千円       | 0円      |
|         |           |       | 資本的支出 | 4,668万円 | 5,836万円   | 0円      |

### 「工業用地造成事業会計の廃止」

3月定例会において販売可能な宅地の完売に伴い工業用地造成事業を廃止するため泉崎村地域開発事業の設置等に関する条例の一部を改正しました

## \*人権擁護委員2名の推薦に承認

：任期は令和7年7月1日から令和10年6月30日までの3年間です

### 諮問第1号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

泉崎村大字踏瀬 箭内 清和氏

\* 任期満了に伴い引き続き推薦する

### 諮問第2号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

泉崎村大字関和久 木戸 馨氏

\* 現委員の任期満了に伴い新たに推薦する

【\*人権擁護委員】人権擁護委員は国民の基本的な人権が侵されることのないように監視し常に人権思想の普及高揚を図る役割を果たします。

# 一般質問

## 5人の議員が村政を問う

### ▼一般質問とは

行政のさまざまな課題等について、議員が自らの提言も含めて村に考えを聞くこと。

1. しらいし まさお 白石 正雄 . . . . . 6 ページ

- ・村内福祉事業の支援
- ・体育館のエアコン設置
- ・中学制服と修学旅行支援
- ・農薬の危険性

2. ながくぼ たかゆき 長久保孝行 . . . . . 7 ページ

- ・駅周辺整備事業の進捗について
- ・給食センター建設事業の進捗について

3. きのうち さとる 木野内 悟 . . . . . 8 ページ

- ・農業振興
- ・事業継承

4. あんどう あかね 安藤 茜 . . . . . 9 ページ

- ・地域経済支援商品券について
- ・村内の施設の照明について
- ・食に対する教育について

5. かとう けいこ 加藤 恵子 . . . . . 10 ページ

- ・学びの場となる給食センターへ

## 村内福祉事業の支援

白石 2024年全国の老人介護事業者の倒産が過去最多で、年間172件に上っている。本来なら介護保険法によって介護福祉事業が発展をし、これまで発展してきた医療産業のように、若い人たちの働く場所が大きく拡大をしていく可能性が広がっていた。

介護事業者の倒産は高齢者世帯や高齢者を抱える家庭に深刻な事態をもたらす。自宅での老老介護やヤングケアラーで若い人が働きに出られない、あるいは高齢者の独り暮らしなど、既に大きな社会問題となっている。村内の老人介護訪問介護事業者はどうか。



白石 まさお 議員

村長 村内の老人介護事業所数は4事業所、訪問介護事業所数は2事業所。南東北リハビリテーションケアセンター入所者は79名、訪問介護等のサービス利用者は145名。泉崎村社会福祉協議会の訪問介護等のサービス利用者は51名。そうした施設や事業所から、相談や要望等は特になく、村としての支援について検討はしていない。

白石 村として経営状況をつかむ必要があるのではないかと。新潟県の村上市では、次の介護報酬改定まで3年間支援することを決めた。泉崎村としてもやるべき。今議会に提出されている中小企業・小規模企業振興基本条例との関係でも、企業に対する産業別支援などを検討していくべきだ。

## 体育館のエアコン設置

白石 政府は昨年の泉崎村の12月議会終了後、12月17日に昨年度の補正予算を成立させた。その中に学校体育館に対する空調設備、エアコンなどの臨時特別交付金制度が含ま

れている。東日本大震災発生後放射能対策として福島県では学校施設に全額県費で設置された。他町村では体育館への設置も実現したところがあった。泉崎村では、教室への設置にとどまり、体育館への設置は見送られた。

文科省調査では、全国の公立小学校体育館に空調設備の設置率は22.1%。全国の小中学校体育館の95%が災害時の避難所に指定されているため、今後10年間で95%まで引き上げる予定で交付金制度を創設した。泉崎村としてどうするか。

村長 避難所となる学校体育館への空調設備設置について、3月の市町村会の席上でも話題にした。今のところ管内で動いているところはない。今後事業費の詳細、設置後のランニングコスト等は精査する必要があると考えている。

教育課長 補助率は2分の1、工事費は下限400万、上限7、000万円で、対象は公立の小学校、中学校、義務教育学校等の体育館。補助要件は、

避難所に指定されている学校体育館で、断熱性確保工事と空調設置工事が対象。対象期間は令和6年度から令和15年度まで。

## 中学制服と修学旅行支援

白石 東京都品川区は中学校の制服と修学旅行費を無償化した。長引く不況の影響から子育て支援を前進させる市町村が増加してきている。泉崎村で実施した場合、どの程度の予算が必要か。

教育課長 男子用の学生服はサイズにより、4万2千円から4万8、500円。夏用のスラックスが8、000円。女子セーラー服は、スカートを合わせ、冬用で3万4、000円から4万3、000円、そのほか夏用がセーラー服の長袖、半袖とスカートを合わせ3万3、000円から4万円となっています。想定される予算は、令和7年度4月に中学校入学生徒は64名。男子生徒と女子生徒総額で約400万円。

## 農薬の危険性

白石 日本の農薬規制は外国に比べ規制が弱い。ネオニコチノイド系殺虫剤とグリホサート系除草剤は洗っても落ちない。世界各国では規制を強化する国が広がっている。発達障害との因果関係が明らかになっている。泉崎村でも講演会などを開催して声を上げていく必要があるのではないかと。

産業経済課長 農薬や除草剤、使用する量などの危険性を村民の皆さんに学習していただくことは必要。ヘリ等で行う松くい虫防除は、令和7年度より実施を取りやめた。昨年まで使用していた薬剤は有機リン系。産業経済課でネオニコチノイド系殺虫剤は使用していない。グリホサート系の除草剤は、産業経済課管理の施設等で使用している。

この他「村民所得の動き」や「自治組合の在り方」について質問しました。



ながくぼ 孝行 議員  
長久保 孝行

## 駅周辺整備事業の進捗について

長久保 駅東口開発は構想の話から長年着手に至らずでしたが、箭内村政になり少しずつ着手され、その計画力、実行力、決断力に多くの村民が期待し、また高く評価しています。その中で村民から完成時期を伺う声があり次の質問をします。

①東西自由通路の基本構想及びJR側との交渉の進捗 ②東西自由通路建設工事における完成までのスケジュールと概ねの総工費及び資金繰り ③駅東側開発における用地取得の進捗 ④泉崎南東北診療所との今後の方針及び交渉の進捗 以上4点を伺います。

村長 駅並びに周辺整備は海上村政時代からの懸案で、大規模事業のため具現化に困難を期してきました。村単独では難しい事業のため県の指導を仰ぎ、国・交省所管の「防災・安全交付金」の補助事業（最大55%補助）の採択を得るため全力で取組んできました。令和5年度に駅周辺整備計画、バリアフリー基本構想を策定、現在は都市計画マスタープラン、立地適正化計画を策定中で令和7年度中に完了を目指しています。令和8年度は都市再編整備計画を策定し、病院も含め助成事業の探索により具現化を目指し、持続可能な村発展のため確実なルールを整備することが私の責務だと考えています。

建設水道課長 ①令和6年度

中はJR側とは11回協議し、JR東日本建築設計と昨年10月1日付けで業務委託契約を締結。複数の計画案を作成し、比較検討いたします。②概ねの総工費はまだお示しできないが、スケジュールは令和7～8年度の2年間で基本・実

施設計を予定。令和9～11年度の3年間で工事完成を想定している。資金繰りは「交付金（補助率最大55%）と地方債（借入）、泉崎駅開発事業基金（積立金）」で賄う予定。③駅東口開発予定地は農地のため、国や県の関係各所と相談しながら進め、今後取得交渉して参ります。

保健福祉課長 ④泉崎南東北

診療所とは2か月毎に意見交換をしている。駅周辺整備事業や立地適正化計画等の状況や今後の診療所の老朽化施設整備に向けての内容です。

長久保 JR側や南東北診療所とも定期的な協議、意見交換が行われており、今後も継続して綿密な協議、交渉をお願いいたします。

## 給食センター建設事業の進捗について

長久保 泉崎村給食センターは1974年（昭和49年）に建築され、50年が経過し衛生面に不安の中、改修を重ね運

営してきた。移転先用地取得が済み、令和7年度予算に基本設計の業務委託費用が計上されたが、進捗状況と完成までのスケジュール及び概ねの総工費、資金繰りを伺います。

村長 学校給食センターは築50年が経過し、子どもたちに安心・安全な給食を提供するため一日も早い完成が待たれるところです。令和6年度に桧内地内の山林を取得し伐採、伐根作業を行っています。令和7年度に造成工事を開始。令和8年度着工。完成しだい供用開始を目指します。

教育課長 先ず進捗状況と完成までのスケジュールは、昨年12月に樹木の伐採が終了し、造成測量業務を発注しました。2月に伐根工事を発注し、3月までに完了予定。敷地造成、排水設計が完了後、令和7年度は建物設計業務の発注。令和8年度に着工、完成予定。令和9年度から給食提供開始予定です。総工費は物価、人件費等の高騰もあり設計完了後にお示しいたします。資金

繰りは国の交付金（学校施設環境改善交付金）と村の一般財源及び借入（学校教育施設整備事業債）の予定です。

長久保 近隣では令和3年に中島村、令和5年に西郷村が給食センター建替えしているため、情報収集し進めて頂きたいと思います。

最後に新給食センターは、泉崎で育つ子供たちの成長に大きく関わる台所（キッチン）となります。箭内村長の公約「駅東口開発、給食センター建替え、診療所建替え」の実現に向け、その計画力、実行力、決断力をもって公約実現に取組まれることを多くの村民が期待しています。その期待に村長の見解を伺います。

村長 実現に向けた確実なルールを敷いていくのが課せられた責務だと認識している。任期中、全力を挙げて努力して参ります。

長久保 大きな事業の実現を、村民も期待しているのでは是非頑張っていたきたい。

## 農業振興

木野内 広大な農地を守って  
いくには引き継いでいただけ  
る担い手の方々に託さなけれ  
ばなりません。規模拡大、圃  
場集積に向けて計画を立てる  
には、村が昨年から作成して  
いる地域計画が大事になっ  
てきます。そこで、昨年から策  
定に当たり各地区で座談会や  
アンケートを基に農地所有者  
の意向調査をしたと思います  
が、全体の何割程度が今回の  
地域計画に反映されているの  
か伺う。



きのうち さとる  
木野内 悟 議員

産業経済課長 令和6年7月  
11日に第1回目の座談会を開  
催しまして、令和7年1月24  
日に全て、14地区の座談会を  
実施いたしました。該当農地

所有者<sup>1,427</sup>名で、今回、座談会  
において地域計画に反映され  
たのは106名で、1割に満たな  
い数字となりました。しかし  
ながら、今回、地域計画図へ  
反映するのは令和5年に実施  
いたしました意向調査も含ま  
れるということで、現在それ  
らを含めた上での策定を進め  
ております。

木野内 後継者がいない中、  
農業を辞められる方の農地を  
現在農業されている方々に担っ  
てもらわなければなりません  
が、見通しはかなり厳しいと  
感じます。大規模で経営され  
ている方も新たな拡大は難し  
いと伺っており、村としても  
注視するのは新規参入の方と、  
特に中小規模で現在経営され  
ている方々に拡大を目指して  
もらわなければなりません。  
このような方々に村として支  
援が必要と考えますが見解を  
伺う。

産業経済課長 農地の担い手  
が減少する中で地域としての  
持続可能な農業をどう支えて  
いくかは重要な課題です。村

としても、新規参入や中小規  
模の農家の支援は解決策の一  
環として非常に大切だと考え  
ておりますので、地域計画が  
策定された後、それを基本と  
して国、県の動向、そして他  
市町村の先進事例等を注視し  
ながら、村認定農業者や地域  
の方々と協議の上、対策を模  
索したいと思います。

木野内 担い手の分母を増や  
し、今よりも面積を拡大して  
いただかないことには、村内  
の広大な農地を守ることは不  
可能だと思っております。村  
としても、色々な事業を抱え  
ておりますが、基幹産業であ  
る農業を守る上で、しっかりと  
予算をつけなければならま  
せんが、伺います。

村長 農業を担ってくれる方々  
が減少している姿は、みんな  
が認識しているわけでありま  
すから、その後は必ずそれを  
集約した形の経営体ができな  
ければ維持できないことにな  
りますので、その条件整備と  
しては基盤整備は必須と言え  
ると思いますので、地元の方々

には整備推進に力を発揮して  
いただけたら村としても非常  
にありがたいと思います。村  
でも様々な大きな課題を抱え  
ておりますので、財政状況を  
にらんでできるものについて  
は農業関係の補助にぜひ傾け  
ていきたいと思えます。

## 事業継承

木野内 村内で農業・商業・  
工業をされている方々が地域  
の繁栄を支えてきたのは紛れ  
もない事実ですので、地域の  
ためにも、そして事業者のた  
めにも多くの方に事業継承し  
ていただける仕組みづくりの  
事業継承バンクを村で設置を  
し、後継者がいない方には事  
前に登録をしていただき、事  
業継承を希望される方を募集

して事業の存続をしていただ  
く必要があると思えますが、  
村の見解を伺う。

村長 本村においても農業、だ  
けでなく、商業、工業におい  
ても後継者不足が重要課題と  
なっております。対策として、  
提案いただいた事業継承バン  
ク設置につきましては、今後  
取り組む必要性を感じており  
ます。なお、これをきっかけ  
に移住定住の促進につながる  
ことも期待が持てるものと考  
えています。

\* 参考資料  
新潟県 津南町  
専属で1名  
(地域おこし協力隊)  
主に・相談窓口  
・インターンシ  
ップ企画

## 地域経済支援商品券について

安藤 令和7年1月10日の臨時議会で議決した地域経済支援商品券は、いつから村民に配布されるのか伺います。

村長 基準日を令和7年4月1日現在において村の住民基本台帳に登録している住民の方、約6100人を予定しております。

配布の方法は、配達記録が残るゆうパックにて4月16日から発送を開始し、4月3週目をめどに各家庭へ到着予定。地域商品券の利用期間は、5月1日から7月31日までの3か月間です。



あんだん 安藤 茜 議員

安藤 全村民の皆さんの負担が少しでも減るように、昨年同様、迅速に配布していただきたいと思っています。

## 村内の施設の照明について

安藤 2027年9月以降には蛍光灯の生産が終了します。また、どういった予定で進めていくのか伺います。

村長 村内の施設数は、101の公共施設があり、既に施設全体がLEDに変えられているところが15施設、役場庁舎や6次産業館、防災センターなど比較的新しい施設であります。残りの86施設のうち、一部LED化しているところもございますが、大半がまだ蛍光灯を使用しています。

今後、各施設の蛍光灯の数や照度の関係など、また、どれぐらいの費用を要するかなどを早急に調査し、年次計画を作成し、予算措置について検討したい。

安藤 LEDにすれば電気代の削減により、その分防犯灯を増やすことができ、村内の安心安全にもつながると思います。あと2年しかない中で、計画的にLED化を進めていただきたいと思います。

## 食に対する教育について

\*この質問は加藤議員と合同の質問となります。

安藤①現在、学校などで食に対する教育はどのように行っているのか伺います。

②日本では食べ残しが多いように見受けられますが、本村ではどうか。今後、食べ残しの対策は考えているのか伺います。

教育長 まず1点目の、学校における食に関する指導は、食に関する指導計画を基に行っておりです。

指導の柱として、第1は家庭科や学級活動、保健体育などの教科の中での指導、第2は給食の時間における指導、第3の柱は個別的な相談指導

この3本が食に関する指導計画の中で行っています。

○2つ目の食べ残しについて本村での直近のデータでは、幼稚園から中学校までで1食当たり63グラムから72グラムになります。全国平均よりも非常に多いというのが現状で、その理由は、1つ目は嫌いなものは食べない、2つ目は量が多い、3つ目は給食の時間が短いなどが挙げられます。

給食の食べ残しに対する対策は、学校給食センターでは給食のメニューの工夫、給食を調理に携わっている皆さんと一緒に調理の現場の苦労などを話し合う中で、食べることの大切さ、それから、感謝の思いを持ちながら食べるということを通して、残食ゼロに努めておるところです。

安藤 各学校で様々な食に対する教育をしているとのこと、安心しました。

食べ残しが多いのであればゼロに近づけるように、給食センターの方々や生徒、各校の先生、保護者との意見交

換をしながら適切な対策をしていただきたいと思います。食育の目的として、子どもたちが食に対して正しい知識を身につける、自ら食生活を考える、望ましい食習慣を実施することを目指す、健全な食生活をできる人間を育てる、そこで食育と給食は密接に関連しており、学校給食は食育を推進する重要な機会となると思います。

給食は、栄養バランスの取れた食事を取ることで健康的な食育を推進する重要な機会となります。メニューや提供方法を工夫することで食に関する教育が行われることや、給食を通じて友達と一緒に食事を楽しむことができ、コミュニケーションや社会生活が育まれたり、食の安全や衛生管理の重要性を考えると、子どもたちが健康を維持するための知識を身につける助けになるかと思っています。

それでは、加藤議員につながりたいと思います。

## 学びの場となる給食センターへ

加藤 安藤議員から引き継ぎ、要旨に沿って質問したいと思っています。

給食センター設立についてですが、設立に伴い学校教育の一貫として利用できるセンターにできないか。

議員視察研修として、2月12日に議員の皆さんと一緒に中島村、西郷村の給食センターを見学してきました。どちらも会議室、また、子どもたちの授業に使える部屋を設けており、調理場を一部見学できるスペースや、アレルギー食調理室なども設置されています。また、子どもたちが調理



かとう けいこ 議員  
加藤 恵子

見学をした後、その場で食に関する学習をすることもあるそうです。

こういった取り組みを本村の給食センター設立に生かしてほしいと思い、質問させていただきます。

本村の給食センター設立に当たり、調理場の見学スペースやアレルギー食調理室、または会議や子どもたちの授業に使用できるスペースの設置など予定があるか伺います。

教育課長 要旨の1つ目、調理場の見学スペースについては、学校給食が実際にどのような工程でどのように作られているのか、学びの場の一つと見学することは大変重要なことであると考えており、本村においても食育の観点から設計の段階で協議してまいりたいと考えております。

アレルギー食調理室については、現在17名のお子さんのアレルギー食の調理を行っておりますが、今の施設には専用の調理室はございません。

で、アレルギー食調理室の設置が必要であると考えております。

会議や子どもたちの授業に使用できるスペースの設置などの予定については、会議室などの設置により子どもたちが給食センター見学の後、食育の授業を行うことも可能になると考えますので、見学スペースと併せて設計の段階で協議してまいりたいと考えております。

加藤 見学できるスペースもアレルギー食調理室も、会議室のような学びの場ができる部屋も設計に考えているとのことなので安心しました。

やはり安藤議員の質問にもありましたとおり、給食の食べ残しは、見学することによって作っている人の一生懸命さが伝わったり、自分達の給食はこんなふうにならされているんだと見ることによって食べ残しも少なくなるのではないかと思いますので、ぜひ設計に入らせていただきたいと思います。

次の質問に行きたいと思えます。

要旨1のような施設ができたら、子どもたちに授業の一貫としてどのようなことができるのか伺います。

教育課長 村では栄養士による食育指導として、小中学校合わせまして19回の指導を行なっています。子どもたちが実際に給食センターを訪問し、給食ができるまでの調理の工程を見ることが、栄養士からの食育指導を受けるなど、見て聞いて学ぶことも子どもたちにとって大変重要であると考えておりますので、施設建設後もこのような取組を継続してまいりたいと考えております。

加藤 中島村、西郷村のどちらも幼稚園、小学校、中学校のカリキュラムの中に給食センター見学を取り入れて食育をしているとのことですが、同じ場所を見学かもしれませんが、幼少から、見ながら感じ

ながら、食に対する考え方を学べることによって、食の大切さ野菜を食べることの大切さが伝わっていくのかなと思います。

中島村では、見学スペースのところに調理場の臭いを嗅ぐところもあって、子どもたちが見学に来て楽しんで学習できるようなスペースになっているなと思いました。中島村と西郷村の良いところをまねて、スペースの形や場所づくりに改善点があれば泉崎村として工夫し、近隣市町村の中で一番良い給食センターになるよう、せっかくなので造っていただけたら、また近隣市町村の子どもたちも学びに来れるかなと思います。

これで私と安藤議員からの女性そして母親目線からの質問を終わりたいと思います。



# 常任委員会報告

## 大型事業の進捗及び今後の方向性

### 経済文教常任委員会

令和7年3月5日、午前10時より、役場第1会議室において委員会を開催しました。日本労働組合総連合会 福島県連合会白河地区連合 議長 藤田隆司氏より提出のありました「福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情」については、福島県内の経済状況や人手不足、人口流出などの課題を勘案し、審議の結果「採択」としました。また、所管事務調査として、関係各課より、議案について詳細な説明を受けました。・産業経済課からは、令和7年度一般会計予算で泉崎長峯地区泉矢大橋橋梁点検委託料及び踏瀬新池護岸改修工事などについて説明を受けました。・建設水道課からは、泉崎駅周辺整備の進捗状況及び八雲神社地

区における大規模盛土造成地調査委託、又、令和7年度泉崎村水道会計予算の衛星漏水調査事業について詳細な説明を受けました。

・教育課からは、学校給食センター工事の進捗状況について説明を受けました。又、第一小学校の落下防止ネット取付工事、第二小学校の体育館照明交換工事、幼稚園ホール暗幕取付工事などについて説明を受けました。



## 福祉の充実と安心・安全な村づくり

### 総務厚生常任委員会

令和7年3月5日、午前10時より、議員控室において総務厚生常任委員会を行いました。

議案第7号泉崎村指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について本村においては、第1号被保険者数が2000人以上3000人未満に該当し、保健師兼主任介護支援専門員1名、社会福祉士兼介護支援専門員1名、社会福祉士1名が在籍し、複数センターの配置は無いことから、今回の条例改正による変更は無いと詳細な説明を受けました。・令和7年度泉崎村一般会計予算の老人福祉費の中の補助金の利用人数は高齢者安全運転支援促進事業が2名、高齢者エアコン購入事業が1名の利用、高齢

者補聴器購入事業は今年度からの新規事業であると説明を受けました。

・消防費の中の消防団員自動車免許証取得等事業の利用人数は0名だったことから各分団への周知をお願いしました。

・水害ハザードマップ作成も阿武隈川や泉川を中心に作成されることから、駅東口開発においては、かなり重要視されるので、重要事業と意見が交わされました。尚、災害対策・各課の人員定数・所管する課の事務については引き続き、調査、検討を進める事といたしました。



## 賀詞交歓会

○1月10日(金)

カントリーヴィレッジにおいて賀詞交歓会が開催されました。村内の企業や各種団体等の関係者の方々が多数参加され議会からも9名の議員が出席しました。



村民こだまさんと一緒に



県議の皆さんと

## 成人式

○1月12日(日)

改善センターにおいて「20才の成人式」が開催され、男子27名、女子26名、計53名の前途を祝福しました。議員9名が出席しました。



毎年恒例のスライドショー



ご成人おめでとうございます

## 地方議会議員 特別セミナー

○1月17日(金)

東京日本橋プラザビルにおいて「新しい地域づくりへの挑戦」と題した地域創生セミナーが開催されました。

新潟県津南町長 桑原悠氏他2名が講師として招かれ議員9名、事務局1名で参加しました。



地域づくりを考える



講師陣によるパネルディスカッション

## 行政視察研修

○2月12日(水)

学校給食センターの建設に向け、他町村の取組みを参考にし、理解を深めるため、中島村・西郷村給食センターの視察研修に議員8名、事務局2名で行ってまいりました。



西郷村給食センター（研修室）



中島村給食センター（見学エリア）

## 卒業式・卒園式

○3月13日(木)・21日(金)



一小卒業式



中学校卒業式

3月13日 中学校卒業式  
3月18日 幼稚園卒園式  
3月21日 第一、第二小学校卒業式がそれぞれ執り行われ議員も参列いたしました。

## 入学式・入園式

○4月7日(月)・10日(木)



幼稚園入園式



二小入学式

4月7日 第一、第二小学校入学式、中学校入学式  
4月10日 幼稚園入園式がそれぞれ執り行われ議員も参列いたしました。

## 桜ウォーク

○4月12日(土)



菅原氏



議長挨拶

4月12日晴天の下、第19回いずみぎき桜ウォークが開催され、800名の参加者で賑わいました。議会からも9名の議員が参加しました。  
また毎年、海産物を提供して頂いている菅原哲夫氏(気仙沼市大島)もかけつけてくださいました。



さんまに大行列



晴天に恵まれ大盛況



昌建寺のしだれ桜

## \* 次期定例会の予定 \*

開会6月2日(月)  
一般質問6月10・11日(火・水)/議案審議6月13日(金)予定

## 令和6年度 泉崎村子ども議会

○1月23日(木)

一小・二小・中学校の代表者  
各3名の子ども議員、また各校  
1名の子ども議長による子ども  
議会が開催されました。

今年度も各学校へリモート中  
継で議場の様子が配信され、代  
表者の堂々と発表する様子を見  
ることができたと思います。



※子ども議会の詳細は令和7年3月号  
の広報いずみさきをご覧ください

## 優良全国町村議会議長会表彰受賞

2月5日の全国町村議会議長  
会定期総会で「住民に開かれた  
議会」と認められ表彰されまし  
た。

泉崎村議会では、議会の内容  
を村民に理解してもらい村政の  
発展に寄与することを目的とし  
て、「子ども議会」を開催し子  
どもたちからの意見・要望など  
の聴取や「議会広報紙」「ホー  
ムページ」での積極的情報発信  
に取り組んでいることから優良  
議会として表彰されました。



泉崎村議会議長会において伝達



【この度の優良町村議会議長会表彰  
受賞は、これまで泉崎村議会  
に関わった全ての人々の努力  
の賜物と存じます。この荣誉  
に甘んじることなく、今後も  
更なる村政発展のために尽力  
してまいります】

## 編集後記

田んぼには、水が入り始め  
いよいよ令和7年度の米作り  
もスタートする時期となつて  
きました。繁忙期となるため、  
くれぐれも作業事故等の無い  
様、ご注意していただきたい  
と思います。

さて、去年より全国的な米  
不足により、米価が上がり、  
「令和の米騒動」と呼ばれて  
おります。今の価格を基に茶  
わん一杯の価格は50円と言わ  
れており、それが高いのか安  
いのか物議が交わされてお  
ります。生産者からするとや  
つと採算がとれる価格になつた  
のも事実であります。食を守  
る農業がどうあるべきか、こ  
れを機会に残食に関してもし  
つかりと考なければならませ  
ん。

(文責 木野内)

編集・発行責任者

議長

岡部 英夫

編集委員会

委員長

円谷 亮一

副委員長

加藤 恵子

委員

白石 正雄

〃

鈴木 義男

〃

木野内 悟